

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立足立西高等学校
全日制課程

1 計画の概要

- 1 地域の保育所と連携し、「発達と保育」の受講生徒がボランティア参加をして、保育士の補助や園児との交流活動を行い、幼児と高校生とがコミュニケーションを図る。
- 2 「第5回江北ふれあいコンサート」において、小・中・高生が連携して合同演奏の発表を行い、地域の活性化を図る。

2 実施内容

- 1 地域の保育所に「発達と保育」の受講生徒10名がボランティア参加し、運動会の運営の手伝いをしたり、紙芝居を披露したりした。
- 2 12月14日（日）本校体育館にて「第5回江北ふれあいコンサート」を実施した。今年度は小・中・高生による初の合同演奏を行った。コンサートへ向けて小・中・高合同練習などを重ね、コンサート当日は、多くの来場者に日ごろの練習の成果を披露することができた。アンコールでは、「ふるさと」を小・中・高生が合同演奏するとともに、来場者の方々も歌で参加し、小・中学生の保護者や地域の方々との交流を図ることができた。

3 成果と課題等

【成果】

- ・保育士志望の生徒にとっては、交流の中で乳幼児がとても喜んでくれたことや、保育士の実際の仕事を身近に見ることで、貴重な経験となり、保育士を希望する気持ちがさらに大きくなった。
- ・「江北ふれあいコンサート」では、異年齢との触れ合い・交流の中で、年長者としての自分たちの役割の「自覚」や自己有用感を高めるとともに、下級生に対しての思いやりの心を深め、成長が見られた。

【課題】

- ・保育所のボランティアは、「発達と保育」受講生の参加だけなので、一般生徒の希望参加も呼びかけて、さらに充実を図る必要がある。
- ・「江北ふれあいコンサート」では、次年度に向けて、各校での日程や企画の調整を行うとともに、指導者・練習方法など各校のアイデアを取り入れながら、実施していく必要がある。

